



2023年の様子（動画あり）

西南政法大学（SWUPL）サマープログラムへの参加記録

5月21日 早朝 関西国際空港を出発、杭州経由で重慶へ  
夜 重慶空港付近のホテルに到着し一泊

5月22日 西南政法大学のスタッフさんと合流、大学まで送迎

5月23日 開幕式、キャンパスツアー、ウェルカムランチ、中国文化体験の授業、火鍋  
皆さんが非常にあたたかく迎え入れてくださって安心した。放課後に日本語クラスに訪問し、そこで仲良くなった中国人の友だちに火鍋を食べに連れて行ってもらった。とても辛くて、日本にはない味だったのが印象的だった。気候や文化に合わせ、独自の料理が生まれたのだと分かった。

5月24日 中国語のリーディング、リスニングの授業

5月25日 中国司法制度紹介、中国伝統的舞踏紹介  
中国のはるか昔の時代から現代に至るまでの代表的な制度の紹介や、孔子・孟子たち偉人の考え方について学習した。また、伝統的な舞踏は動作がとても優雅で感動した。後半で私たちもダンスの練習をしたが難しかった。

5月26日 中国文化紹介、中国京劇  
この日はおなかを壊してしまい、一日中ホテルにこもって療養していた。

5月27日 民国街文化体験、磁気口古鎮、洪崖洞  
重慶で有名な観光地を巡った。昔の伝統的な街並みを見ることができた。また洪崖洞は夜になるとライトアップされるのだが、息を呑むほど幻想的だった。

5月28日 自由活動 大足石刻  
重慶の世界遺産に行った。まるですべての仏像が生きているかのように躍動感があった。当時の人の考える地獄の世界観が反映されていて非常に興味深かった。

5月29日 羽蹴り体験、法律文化紹介

羽蹴りは、日本でいう蹴鞠のようなものだった。街中で羽蹴りをしている人を見かけた。

5月30日 中国の改革の紹介、中国の武術

現地の大学生のグループが、私たちに武術を披露してくれた。迫力満点で感動した。日本の武術・剣道をたしなんでいる私にとって、海外の武術はとても新鮮で面白かった。実際に刀を持って彼らに扱い方を教えてもらった。

5月31日 中国の書道、閉幕式、重慶動物園

中国の書道は日本の書道よりも流れや緩急を意識していると感じた。あっという間に時間が過ぎていき、閉幕式が終わると少し寂しかった。様々な国の人と交流でき、意見交換のチャンスがたくさんあって、かけがえのない思い出になった。また、自分自身少し成長できたように思う。

6月1日 重慶から北京へ

6月2日 飛行機が半日以上遅延

遅延したので、思い切って北京観光に出かけた。世界遺産である頤和園を訪れた。英語で夏の宮殿と名付けられており、その宮殿の中には巨大な湖があった。

今回のプログラムに参加し、改めて国際交流の大切さに気付いた。現地では辛い食事が合わず腹痛に苦しんだが、それも経験のうちだと割り切り、限られた時間の中で精一杯学びそして現地で作った友人と時間を過ごすことができた。一歩踏み出してチャレンジすることで、視野が広がったように思う。

本プログラムに参加させていただき、ありがとうございました。

## 留学の成果

私が今回西南政法大学に留学させていただき学んだことは大きく分けて3つあります。

一つ目は、中国人学生の勉強に対する姿勢です。現地の学生は、毎日朝早くから夜遅くまで行われる講義に加え、わずかな空きコマを利用し図書館や大学近くの喫茶店、空き教室などで勉強をしていました。法律を専門とする大学に留学したということもあり、多くの学生が司法試験に向けて勉強していましたが、その勉強量と勉強に対する意欲に驚きました。学生一人一人の勉強に対する姿勢が、仲間を刺激し、学校内で相乗効果が生まれているのだと感じました。私もこれからは中国人の学生の勉強に対する姿勢を見習って、学ぶことができることに感謝をしながら、勉学に励みたいと思います。

二つ目は、語学力の重要性です。今回私たちが参加したプログラムには、私達日本人以外に、タイ、ドイツ、ポーランド、カンボジアの学生が参加していました。母国語がそれぞれ異なるためコミュニケーションはすべて英語で行うのですが、自分の感情や言いたいことを英語で正確に表現するが難しく、歯がゆい思いをすることが幾度もありました。いつか英語が、自分の言いたいことをストレートに表現できる日本語のようなコミュニケーションツールになるように、英語の勉強にもさらに力を入れていきたいと感じました。

今回一緒にプログラムに参加した学生の中で、カンボジアの学生さんが特に印象に残りました。なぜならカンボジアの学生さんは、母国語であるクメール語以外に、英語、中国語も流暢に話すことができ、プログラムの中で先生方が中国語でおっしゃったことを瞬時に英語に通訳していたからです。母国語以外の言葉を母国語以外の言葉に変換することは、相当勉強をしないとできません。聞いてみると、幼稚園児のころから幼稚園以外に3つの語学の学校に通っていたそうで、小さいころから努力をされていたのだとわかりました。同年代で何か国語も話せる人がいるということに、大変刺激を受けました。

三つ目は、文化の違いです。中国はキャッシュレスが進んでおり、お店の支払いや交通機関の利用はもちろん、お寺のお賽銭でさえQRコードを読み取って行うようになっていました。お賽銭は考えさせられるものがありましたが、キャッシュレスの便利さに驚きました。また、今回訪れた重慶は辛い食べ物が有名な地域なので、日本ではなかなか挑戦することのない唐辛子や山椒がふんだんに使われているような激辛料理を数多く食べました。このほかにも中国に実際に足を運ばないと気付かなかった違いがたくさんあり、すべてが新鮮でワクワクする日々でした。

今回留学を通して、短い期間でしたがたくさんの刺激を受け、今まで自分が持っていた価値観が大きく変わるような出来事がたくさんありました。現地での素晴らしい出会いに感謝し、留学で学んだことを大切に、これからも頑張ろうと思います。今回はこのような貴重な機会を与えて下さり本当にありがとうございました。またこういった機会があれば参加させていただきたいです。